

平成28年度第1回流山市文化財審議会会議録

- 1 開催日時
平成28年7月29日（金）14時00分から16時30分
- 2 場 所
流山市生涯学習センター B101号室
- 3 議 題
 - (1) 平成28年流山市文化財保護事業実施状況及び今後の予定について
 - (2) 流山市指定記念物（天然記念物）の指定について（諮問）
赤城神社の社叢林・光明院のタラヨウ
 - (3) 鱈ヶ崎三本松古墳の調査について
 - (4) 松ヶ丘1号型街路灯について
 - (5) その他
- 4 出席委員
古谷会長、鎧副会長、小川委員、下津谷委員、
常木委員、牧野委員、西委員
- 5 欠席委員
日塔委員、松浦委員、武田委員
- 6 事務局員
戸部生涯学習部長
小栗図書・博物館館長
染谷図書・博物館次長
北澤学芸係長、小川主任学芸員、斉藤副主査
- 7 傍聴者
なし

平成28年度第1回文化財審議会議事録

(染谷次長)

本日は大変お忙しい中、お集まりをいただきまして、誠にありがとうございます。

本日、司会進行をさせていただきます、図書・博物館次長の染谷でございます。よろしく願いいたします。

開会に先立ちまして、事務局職員の紹介をいたします。

小栗館長お願いします。

～職員紹介～

それでは只今から、平成28年度第1回流山市文化財審議会を開会いたします。会議開催に先立ちまして、お手元にお配りしました資料の確認をお願いします。まず、式次第、出席委員名簿、それと過日に郵送いたしました会議資料をご用意ください。

また、審議会の会議録は市役所ホームページでの公開が義務付けられておりますので、会議録作成のためご発言を録音させていただきます。ご了承ください。

ここで、教育委員会を代表いたしまして、戸部生涯学習部長からご挨拶させていただきます。

部長お願いします。

部長 挨拶

(染谷次長)

部長 ありがとうございます。

それでは、次第に沿って進めさせていただきます。

流山市文化財審議会会長から、ご挨拶を頂戴します。

古谷会長お願いいたします。

古谷会長挨拶

(染谷次長)

古谷会長ありがとうございます。

「流山市文化財の保護に関する条例」第7章第46条第1項の規定によりまして、会議の議長は会長に務めていただく事となっておりますので、ここからは会長に進行をお願いいたします。

(古谷会長)

議事進行に先立ち、事務局に出席委員数の報告を求めます。

(北澤係長)

本日の会議におきましては、委員10名のところ7名と過半数以上出席をいただいておりますので、「流山市文化財の保護に関する条例」第7章第46条第2項により、会議が成立している事を申し添えます。

(古谷会長)

会議成立ということですので、次第により議事を進行させていただきます。

議題(1)「平成28年度流山市文化財保護事業実施状況及び今後の予定について」事務局から説明願います。

(小栗館長)

事務局長の小栗です。

議題(1)の内、文化財保護推進事業につきましては北澤係長が、埋蔵文化財発掘調査関係事業につきましては、小川主任学芸員が説明いたしますので、よろしく願います。

(北澤係長)

学芸係長の北澤です。文化財保護推進事業についてご説明いたします。

資料P1・2、文化財保護推進事業について資料を示しながら説明。

(小川主任学芸員)

主任学芸員の小川です。埋蔵文化財発掘調査関係事業についてご説明いたします。資料P3・4、埋蔵文化財発掘調査関連事業について資料を示しながら説明。

以上で事務局の説明を終わります。

(古谷会長)

只今、事務局より説明のありました、議題(1)「平成28年度流山市文化財保護事業実施状況及び今後の予定について」、ご意見のある方はいらっしゃいますか。

(小川委員)

人骨はどの程度出土しているのでしょうか。

(北澤係長)

人骨の分析については、平成27年度から継続して行っています。平成27年度は60体。本年度も60体を予定し、委託に出しています。今後も2年ほど分析を実施しないと終了しない予定です。

また、昨年度の報告書が出来上がっています。ハンセン病や梅毒などで死亡したとも言われている、鍋被り葬の人骨や子供の骨も分析しており、何らかの病変が認められています。今回の分析では低年齢の子供の骨が多く見られることや身長も150cmくらいと低い傾向が分析結果の成果の一つです。

今後は歯の特徴や食性分析も進める予定です。分析委託先は新潟県の医療福祉大学の奈良先生です。

(常木委員)

歯の分析先も、奈良先生ですか。

(北澤係長)

歯の分析は別の先生を考えています。食性の分析は東京大学の米田先生にお願いしています。

(牧野委員)

体験学習の受け入れは、中学、小学校のうち、小学校3校だけの実施ですが、どうしてなのでしょう。

(北澤係長)

授業のカリキュラム上、小学6年生は4・5月に、歴史の社会科で勉強することになっています。4月1日付けで各小学校長宛に見学会の受入れ・出前事業の依頼を出して調整していますが、全ての小学校に参加いただければ良いのですが、カリキュラムの調整を図るのが難しいことが原因と考えられます。

また3校だけの理由ですが、今年度は発掘現場が学校から遠い、授業との調整がつかない等が考えられます。

中学校に対しては、2年生を対象に職場体験を市内各所で実施しており、9月、11月に3校が実施する予定となっています。

(小川委員)

学校現場では次の年のカリキュラムが早々に決められています。直前に文書を出すのではなく、学校教育課と情報交換を行い、早い段階で情報を発信すると良いと思われます。

(小栗館長)

学校と協力して進めるということをご指摘いただきましたので、今後はこの方向で進めたいと思います。

この他には、流教研という学校の先生達の社会科部会が、毎年、博物館の職員を講師に研修会を行っていることをご報告いたします。

(北澤係長)

また教職員の研修会もありまして、これは6月中旬に小中学校の社会科部会の先生方に博物館の説明を行い、あわせて8月26日、今年度新規採用となった先生を対象にした、「流山の歴史」についての講演依頼を受けているところです。

また、教員免許法の改定後、10年目の先生が受ける研修もありまして、その受け入れ先として、博物館では1名を受け入れています。

(下津谷委員)

出土資料分析の件ですが、三輪野山遺跡群の金属器保存処理の実施会社はどこですか。

(小川主任学芸員)

パリノ・サーヴェイ株式会社に委託して実施中です。

(常木委員)

小谷貝塚については面白い成果が上がっている様に聞いておりますが、開発に伴う調査の中で、遺跡全体像の把握や保存の構想はありますか。

(小栗館長)

これまでA～J地点まで発掘調査を実施してきましたが、いずれも代替わりにより、土地を手放して開発に至ったための緊急発掘調査です。保護層で現状保存できた部分もありますが、抜本的な対応は難しいところです。

(常木委員)

小谷貝塚の全体像はどのように報告書に提示していくのでしょうか。

(小栗館長)

これまで小谷貝塚は縄文時代中期の遺跡と思われていましたが、後期の遺構も発見され、見直す必要が出てきました。遺跡の全体像は、これまでの調査区域が狭小なため不明瞭ですが、成果を積み重ねて、報告書の中で示していきたいと考えています。

(北澤係長)

資料P3の下段に国県の補助対象経費として、1・4・6番があり、補助を受けて事業を実施しています。1・6番は来年報告書を完了することになっていますが、国庫補助金の予算枠内での実施となるため、十分な報告とならないかもしれません。しかし、できるだけ全体像を公表していきたいと考えています。

(古谷会長)

他にご意見のある方はいらっしゃいますか。

無いようですので、次の議題に移ります。

続きまして、議題(2)「流山市指定記念物(天然記念物)の指定について(諮問)」を事務局より説明願います。

〈諮問に関する審議については非公開〉

(古谷会長)

事務局は議場を解放してください。

続きまして(3)「鱒ヶ崎三本松古墳の調査について」、事務局より説明願います。

(小栗館長)

議題(3)「鱒ヶ崎三本松古墳の調査について」の説明につきましては、担当である北澤学芸係長が説明いたしますので、よろしくお願ひします。

(北澤係長)

本件のこれまでの調査成果と古墳調査指導委員からの意見及び今後の予定について説明します。

別紙資料P16～18、カラー刷りA3版のとおり

鱒ヶ崎三本松古墳の調査説明

(小栗館長)

下津谷委員は古墳調査指導委員会の委員をされておりますので、ここでご意見をいただきたいと思います。

(下津谷委員)

こんなに壊されている古墳は初めて見ます。

具体的には周溝が浅い。また墳丘との間に広い部分があること等から、削平が広範囲に行われたことがわかります。規模的には、市川市法皇塚などと同じであり、注目される古墳ではあるが、壊されすぎている。

墳丘を削って、埴輪も壊して捨てたような状態で、調査は難航が予想されます。

(小栗館長)

昭和30年代では岩崎先生が写真を撮影されており、また埴輪も拾われています。これらの資料の一部は筑波大学が保管しています。

(古谷会長)

只今、事務局から説明のありました、議題(3)「鱈ヶ崎三本松古墳の調査について」について、ご意見のある方はいらっしゃいますか。

(常木委員)

中世の人々は、墳丘を小さくするような削り方するのでしょうか。

(北澤係長)

どうしてここまで削平したかの意図はわかりませんが、古墳の周辺部も含めて、中世においてローム層まで削る、大規模な造成をしていることが発掘調査の結果、明らかとなっています。また南側も大きく削平されています。

(常木委員)

出土した下総型埴輪の時期ですが、6世紀末くらいでしょうか。

(北澤係長)

6世紀後半の早い時期と思います。

(常木委員)

そうすると、変則的古墳のように旧地表面から下に主体部がある可能性は低いと思われませんが、いかがでしょうか。

(下津谷委員)

下野型の可能性も考えましたが、どうも違うようです。図の赤線の溝は設計のための溝と違うと考えられます。

(古谷会長)

他にご意見のある方、いらっしゃいますか。

無いようですので議題(3)「鱒ヶ崎三本松古墳の調査について」は、今後とも調査指導委員会の指導を仰ぎながら慎重に発掘調査を進め、本審議会に調査成果を逐次報告しながら、業務を進めて下さい。

(小栗館長)

了解しました。御指示のように業務を進めさせていただきます。

(古谷会長)

次の議題に移ります。議題(4)「流山市松ヶ丘1号型街路灯」について、事務局から説明願います。

〈指定に関する審議については非公開〉

(古谷会長)

議題(4)につきましては、本案を国登録の推薦書とすることに決定しました。事務局は国登録に向けて手続きを進めて下さい。

(小栗館長)

了解しました。進めさせていただきます。

(古谷会長)

事務局は議場を解放してください。

次に、議題(5)「その他」について事務局の説明を求めます。

(小栗館長)

現在の文化財審議会委員の任期の件です。任期は9月30日までで、牧野委員、西委員が今期で退任となります。

今後、8月1日には委員公募の件が広報に掲載され、10月1日からは新しい委員を向かえた新体制となります。次回審議会の開催時期は10月後半くらいで開催と考えているところです。

審議内容は閻魔堂の調査成果報告、準備が整いましたら、諮問に持って行きたいところです。また民俗は小川委員と進めたいと考えています。

(古谷会長)

事務局からは以上とのことですが、委員の皆さんからご意見ありませんでしょうか。また、事情により次期の委員の継続が出来ない方がいらっしゃいましたら、ここでご報告をお願いいたします。

ご意見ございませんでしょうか。

それでは、まことに恐縮ですが、私も一身上の都合により、8年間お世話になりましたが、今回でやめさせていただきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

(古谷会長)

それでは皆様から退任の挨拶をお願いします。

退任する、牧野委員、西委員から挨拶があり、最後に古谷会長からの挨拶。

(小栗館長)

皆さんお疲れ様でした。

それでは、平成28年度第1回文化財審議会を終了といたします。

皆様、長時間のご審議お疲れ様でした。ありがとうございました。

以上で、平成28年度第1回文化財審議会を閉会させていただきます。